

P(S)DCAから考えるワクチン行政

－西宮市の高齢者ワクチン接種計画－

伊賀幹二

伊賀内科・循環器科

企業における新人研修

- PDCAサイクルをまわす
 - Plan
 - Do
 - Check
 - Action
- 計画をたてて、やってみて、評価して、、、

実践的な社会活動として

- 社会のニーズを考えた目標設定
 - 上位の目標を考慮
- 現状の分析
 - 十分な情報を共有し全体像を掌握
- どんな方法で(これがS:strategy)
 - 果たして成算はあるのか？
- 施行後(一定期間)に結果を評価
- 方法や目標の妥当性を検証

大谷翔平が花巻東高校 1 年時に立てた目標達成表

体のケア	サプリメント をのむ	FSQ 90kg	インステップ 改善	体幹強化	軸を ぶらさない	角度を つける	上から ボールを たたく	リストの 強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリース ポイント の安定	コントロール	不安を なくす	力まない	キレ	下半身 主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の 強化	↑ 体を 開かない	メンタル コントロール をする	ボールを 前で リリース	回転数 アップ	可動域
はっきり とした目標、 目的をもつ	一喜一憂 しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチ に強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周り の強化
波を つからない	勝利への 執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチング を増やす
感性	愛される 人間	↓ 計画性	あいさつ	↓ ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク 完成	スライダー のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に使う	運	審判さん への態度	遅く落差 のある カーブ	変化球	左打者へ の決め球
礼儀	信頼 される人間	継続力	プラス思考	応援される 人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォーム で投げる	ストライク からボールに 投げる コントロール	奥行きを イメージ

高校1年の大谷少年

- 目標は2年後ドラフト1位
- そのためにはどうすればよいか

- 自然にPDCAの考え方が身に付いている

正確な情報として

- コロナ感染症と他の感染症の相違
 - PCR陽性が感染者と定義
- 症状があり検査キット陽性例をインフル感染者
 - 無症状例にインフルエンザPCR検査して陽性例をインフルエンザとする？
- 県別コロナ感染者**数比較**、に客観性はない

ワクチン接種について

- アナフィラクシーが生じれば大変
- ワクチン接種するには、蘇生用具が必要
 - 少なくとも、マイナー科では接種不可
- 患者さん同士の混雑はさけて
 - 最低15分の観察時間

多くの診療所が拒否する可能性

ワクチン接種12万人

- これは目標ではあるが
- 上位の目標はコロナ蔓延防止
 - 上位の目標を現場の人間と共有する
- ワクチン接種後に、時間をあけて当初の目標が達成されたかを評価

ワクチン接種方法

- 市政ニュース(5/8)で5/12から診療所と集団接種で65歳以上住民を7月末まで(2.5ヶ月)
 - 12万人=24万回
 - うち1万回を集団接種
- 残りを診療所で個別接種という計画
 - 手上げの200の診療所
 - 一日12名のワクチン
- 終了後に患者データをタブレットでVRSに報告
 - 後日、西宮は市職員が入力となった

結果

- 5/10から各診療所に予約電話が鳴り止まず
 - 当方では診療できなくなり、3日間電話とらず
 - 受付嬢が罵倒されることもあった
- 電話を留守電設定とし、「当方はワクチン施行しない」とのテープを流した

この混乱は予測できたこと

市と医師会の交渉

- 少なくとも一般会員には聞こえない
- 成算性がない方法を現場の医師会は許可？
医師会には権限はない？

方法に関する現場の意見

- 選挙を管理している地区の名簿から
 - 小学校でワクチン集団接種
 - 小学校は文部省の所管
- 応急診療所でワクチン接種
- 行政は県や国の方針通りにするだけで、自分たちの意見は言えない？

医師会の幹部は

- 保健所をはじめ、寝食を忘れてがんばった
– それは確かです

日本の文化として、**一生懸命**すれば
結果が悪くとも許される

会員が情報・上位の目標を共有し

- 方法論につき公開で議論すべきだった
 - 到達するためのよりよい方法論
- 議論後は、責任者（保健所＋医師会）が決定
- しかし、医師2名の西宮保健所で可能か？

P(S)DCAから考えるワクチン行政

－ワクチンの予診表について－

伊賀幹二

伊賀内科・循環器科

ワクチン接種手順

- 各人に送付された予診用紙の提出
 - 記載が抜けていないか
- 本人の確認
 - 名前を再度言ってもらう必要は？
- 病歴・薬歴の確認
 - 書いていないことまで聞く必要は？
- 国家の賠償についての説明

予診表は

- ワクチン法で決められている？
- 予診をとることで、副反応の軽減や不適切な接種を防ぐ目的

目的はできるだけ多人数に接種

- その上位の目標は感染者を減らすこと
- その方法が妥当かどうかも議論
 - ワクチンの効果

現状分析

- コロナ感染症が増加し、未曾有の危機
- 早く国民にワクチン接種したい
- 集団接種で問診に5分とれば、1時間で最大12名しか接種できない

問診票は何のため

- 目標は、ワクチンの副作用を下げる
- ワクチンの長所・短所を理解させる

医療従事者先行接種

- 問診票遵守で死亡事故防げた？
 - アナフィラクシーは防げた？
- 答えはNo

ワクチンの接種

- 多くの人に早く接種することを一義とするなら
 - パンフレット渡し、ビデオで説明
 - 現在の体調をきいて接種すればよい
 - 聴診して何がわかる？（聴診器持参と記載）
- 律速因子は
 - 不十分な供給であった

ワクチン接種時の情報について

- 歯科医師に注射を依頼
 - うち手医師が少ないとのマスコミ情報
 - なぜこんな事実と異なる情報をだした？
- 結局、看護師が打つことに
 - 医者は問診と救急対応

高齢者ワクチン接種後の検証

- 今回とった方法論に対する反省は？
- 反省
 - 良かったことを確認
 - 悪かったことで変えられるところは変える
- 文書で国民に示し、将来のために記録残す

ワクチン接種行政

- 「P(S)DCAをまわす」という観点から考察した

組織（行政）への提言

- 現場と上位の目標を共有し、意見が伝わる体制
 - 伝わらないので意見をいわなかったという歴史
- 現場の人間は、「情報は正確か？」、「全体を見てるか？」を理解し、PDCAで考える習慣を
 - 「一生懸命」は言い訳にはならない
- 上層部は常に上位の目標を考え、結果をみて目標・方法が妥当だったかを検証する
 - 検証で方法が失敗と認めることは問題ではない